

オリーブの会通信

2013年3月7日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会
〒760-0078 高松市今里町一丁目 499-2
連絡先 TEL/FAX 087-843-9877 (川井)
<http://khj-olive.com/>



第129回月例会ご案内

日 時	2013年3月24日(日) 13:30~16:30 (受付:13:00~)
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階 第1・2研修室 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
内 容	13:30~13:40 報告・連絡(川井) 13:40~15:00 さぬき若者サポートステーションの事業と居場所(H25年度)開設について 総括コーディネーター 鷺見 典彦氏 質疑応答あり 15:00~15:15 休憩 15:15~16:30 小グループに分かれての話し合い
参 加 費	・会員 1家族 1,000円 ・非会員 1家族 1,500円

ガラス越しの日差しもやわらかく感じられるようになりました。何かと行事の多い3月ですが、お元気でお過ごしのことと存じます。

さて、2月例会では、特に事業運営について様々なご意見、ご自身の心情についてもお書きいただき有難うございました。月例会に参加されている皆さんも、我が子のひきこもり状態、年齢、家庭を取り巻く環境等、それぞれの想いをもって参加されていることが本当によく分かりました。早速3月3日の運営委員会において検討いたしました結果、ご意見のなかで理想は理想として伺い、取りあえず自分たちができることから実行に移していくことになりました。

まず親が元気をだしましょう。そして我が子と同様に活動に参加することから始めましょう。私たちはオリーブの会として、出来る範囲の支援をしながら、また一方では多くの方々の支援を受けて今があります。みんな繋がっているのです。

2月例会にご参加いただき、またオリーブの会のことを自分自身のこととして真剣にお考えいただいた皆さんに感謝申し上げたいと思います。

(川井)

【2月例会（2/24）の報告】

1 報告連絡（川井理事長）

（1）動き

ア 「居場所の設置」

- さぬきサポステでは平成25年度予算で「居場所の設置」が認められた旨、月例会で連絡致しましたが、正しくはNPO法人さぬき自立支援ネットワークの無償提供（2/27 鷲見氏確認）とのことですので訂正いたしておきます。
- 精神保健福祉センターでは「居場所の設置」が認められなかった。しかし、アンダントのこれからの展開のひとつに居場所は必須であると藤田氏も挙げている。

イ 「ポパイの会」

- 居場所で自分のペースでやりたいことをやりながら、自分で一歩前へ踏み出そうとしており、サポステへの参加にも結びついている。あと一歩で居場所へ来ることができそうな若者もいるので、ポパイの会の情報を伝えてほしい。

ウ 「2013年のオリーブの会のあり方」

- 組織 ～ 理事や運営委員の新旧交代について案を提示。
- オリーブの会 ～ NPO法人化で認知度はアップし、行政機関等からの呼びかけも多々あり、また親の会も紹介していただいている。
- ひきこもり地域支援センター ～ 現在、相談窓口、他機関との連携、情報発信を事業としているが、まず、認知されることが大事である（京都大会 厚労省の鶴見課長補佐の挨拶のなかで）。またアウトリーチ、居場所事業等の充実を親の会として要望していかなければならない。

(2) 2/3 拡大理事会の結果

- ア 「月例会」 新年度よりグループ別話し合いのやり方について、司会者、当番を決める方法をルール化し、全員参加型で対応する。
- イ 「居場所」 当事者がふらっと立ち寄れる場所（できれば数カ所）、どのような運営方法があるのか、また、居場所リーダー（ピアスタッフなど）を育てることも大事、2013年度に向けてどうするか検討する必要がある。
- ウ 「ポパイの会」 3/10に2013年度の予定を話し合うので、若者に参加を呼びかけて欲しい。
- エ 「訪問活動」 要望があれば1～2組からでも実行していきたい。
- オ 「親の学習会」 事業として行う場合、参加者自身ができることを、協力したいという想いをもって2013年度の進め方を考えて欲しい。
- カ 「パンフレット」 他機関にオリーブの会（親の会）を知ってもらい、事業を紹介するのに使用している。今後は更に活用していくものとする。

2 2013年度への取り組み

出席者から今後の取り組みへの提言を、項目別に「シート」に記入して提出してもらった。意見の中には、例えば、福祉計画を作る、資金の確保、助成金の申請、居場所活動の機会を増やす、月例会を当番制（受付、司会を含む）のルール化、地域のひきこもり実態調査（全く知らない家への訪問は現時点では難しい・・藤里方式は社協と住民の信頼関係があったから訪問調査が成功した）、当事者交流の促進等、貴重な意見が出された。今後、これらを運営委員会に諮り2013年度に出来るものから決定して進めるものとする。

3 親の体験談

今回は、3名の方から、

- 親としては何事も「プラス思考」で行こうと思っている。また、「ひきこもりのゴールは就労とは考えていない」（斉藤環先生）というお話を聴き、生きていて良かったと子供が思えるように、時間をかけて、ひとり立ちの可能性と希望を持ち、子供に寄り添っていくことが親の務めだと思い、生きていくことが大事と考えている。
- ゴールは就職ではない。今は好きなことを十分やらせてやりたい。「ひきこもりは出口が難しい」（竹中先生）ということ胸に刻んで生きて行きたい。これから一人でも多くの当事者が居場所に来られるようにがんばって行きたい。
- 親としては、子供に何か「形」（物）で残してやりたい。オリーブの会も「目標」を立て、働く場所を作り、若者に示してやる必要がある。親が生活協同組合法に基づく「生活協同組合」を立ち上げ、その中に引きこもりの若者を入れていく考え方も出来るのではないかと。新しい活路を作っていくことに力を入れて行きたい。

などのお話をしていただき、参加者一人ひとりの胸に響くものがありました。

4 小グループ別の話し合い

今回は、出席者に3グループに分かれていただき、各グループにおいて「体験談の感想」や「いま困っていること」「子供の変化の様子」「オリーブの会の運営方法」「月例会のあり方」等の話し合いをしていただいた。

各グループとも終始熱心に意見交換が行われた。その中で、引きこもりの若者は各々「得手」としているものを持っていることが披露され、これからは、それら若者の得意部分を居場所活動等に生かせるように、親は積極的な支援をすることが、大事であるという想いを強くしたグループもありました。

【3・4月 居場所活動予定】

内 容	日	曜日	時 間	担 当
第10回運営委員会	3/3	日	13:30～	川井
個人カウンセリング（松田先生）	3/9	土	9:00～	加藤
ポパイの会	3/10	日	13:30～	森下
2013年度第1回拡大理事会	4/7	日	13:30～	川井
個人カウンセリング（松田先生）	4/13	土	9:00～	川井
ポパイの会	未定			

【130回 月例会予定】

日 時	2013年4月28日（日） 13:30～16:30（受付：13:00～）
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階 研修室
内 容	2013年度通常総会
担 当 G	Bグループ

【青少年育成支援セミナー】 主催：香川県

日 時	2013年3月16日（土） 13:00～15:30（受付：12:30～）
場 所	香川県社会福祉総合センター 1階 コミュニティホール
内 容	「みんなで子どもを育てる地域社会づくり」 ～『つなぐ』役割を先進事例から学ぶ～ 提言1「家庭教育支援チーム<こもんず>の取組み」 菊地 まり氏 提言2「困難を有する子ども・若者の自立を目指して」 滝田 衛氏 提言3「フィンランドの家族支援とこれからの青少年育成支援」 竹森 元彦氏 ～青少年育成支援ネットワーク研修講座を通して見えたもの～
参加申込み	県男女共同参画課 TEL087-832-3196 3/11（月）締切 定員200名